

Course Title 科目名	[Special Topic] Introduction to Conflict of Laws [特殊講義] 国際関係私法概論			Instructor 担当者	TADA, Nozomi 多田 望		
Semester 学期	Fall 2022	Language of Instruction 使用言語	JAP 日	Credits 単位	2	hrs/wks 時間数/週	2

【Course Objectives: 授業の到達目標】

この講義は、国際取引や国際結婚など、私たちの国際的な私生活から生じる様々な法的問題の解決を目的とする「国際私法」、「国際民事手続法」および「国際取引法」の3つを概説し、その基本知識を身につけることを目標にします。この講義の内容をマスターすれば、(1)国際私法における準拠法決定の基本プロセスを中心に、(2)国際民事手続法における国際裁判管轄権の基本枠組み、(3)国際取引の法的規律の基本が身につきます。これらは、1年後期以降の「国際私法I(総論・家族法)」、「国際取引法」、「国際私法II(財産法)」、「国際民事手続法」、「国際取引法発展」をスムーズに理解するための基盤になり、皆さんの目の前に「国際関係私法学の世界」のとびらが開きます。1年前期の「国際関係法入門」を受けた方は、そこで実感した「国際関係私法学の魅力」を、この講義でぜひ進化・展開させてください。

さらに、大学対抗交渉コンペティションやVis Moot(模擬国際商事仲裁世界大会)などの国際関係私法の日本語・英語ディベート参加のための基礎力も、身につけることができます。

【Course Summary: 授業の概要】

各回の「授業計画」に沿って、教科書、レジュメ、パワーポイント、新聞等の資料を使いながら進めて行きます。授業中に、Moodle(Eラーニングシステム)に接続して回答するQuestionを行います(スマートフォンやノート型PCなど、インターネットに接続できる携帯端末をご用意ください)。また、勉学の到達度を測るために中間テストも行います。中間テストは、授業を「聴いただけ」にしないためにとっても効果的なので、自分の力を試す絶好のチャンスです。さらに、全体で10分間程度、英語による解説も適宜行います。英語に接する機会として役立ててください。

【Study Required outside Class (Preparation etc): 事前・事後学習】

「授業計画」欄の各回の授業内容に記載されている教科書の該当頁を、授業前に必ず読んできてください。また、Moodleにアップロードされる毎回の授業シラバスや資料を熟読し、内容を理解したうえで授業に臨んでください。

【Class Outline: 授業計画(各回の授業内容)】

Session 1	講義案内、国際関係私法とは？
Session 2	国際私法(1): 準拠法決定の公式「[1]単位法律関係+[2]連結点=[3]準拠法」
Session 3	国際私法(2): 法性決定: さすらいのイギリス人事件(1)
Session 4	国際私法(3): 重国籍者の本国法: さすらいのイギリス人事件(2)
Session 5	国際私法(4): 婚姻、親子関係の準拠法/公序
Session 6	国際私法(5): 第1回小テスト: 準拠法決定の公式の理解
Session 7	国際私法(6): 相続の準拠法/反致
Session 8	国際私法(7): 契約の準拠法
Session 9	国際私法(8): 物権、不法行為の準拠法
Session 10	国際民事手続法(1): 国際裁判管轄権(1)
Session 11	国際私法(9)、国際民事手続法(2): 第2回小テスト: 国際私法と国際裁判管轄権の復習
Session 12	国際民事手続法(3): 国際裁判管轄権(2)、外国判決の承認・執行
Session 13	国際取引法(1): 国際物品売買契約: インコタームズ、国連国際物品売買条約(CISG)
Session 14	国際民事手続法(4)、国際取引法(2): 国際商事仲裁、国際ビジネス交渉

【Required Textbooks and Course Materials: 教科書(購入必須)】

多田望=長田真里=申美穂=村上愛『ストウディア国際私法』(有斐閣、2021)

【Recommended Textbooks and Course Materials: 参考図書】

- (1)松岡博編『国際関係私法入門[第4版補訂]』(有斐閣、2021)
- (2)道垣内正人=中西康編『国際私法判例百選[第3版]』(有斐閣、2021)

【Grading Criteria: 成績評価の方法】

成績は、期末試験によって評価します(60点以上で合格)。国際関係私法に関する基本知識や基本条文を適切に理解しているか、それらを用いて国際関係私法の諸問題に対する自分の見解を示すことができるかを、基本的な評価基準とします。なお、適宜実施する質疑応答、Moodleにおける小テストや中間テストの成績も、期末試験の結果に加味します。詳細は初回の授業で説明するので、受講希望者は必ず初回の授業に出席してください。

【Note: 履修上の注意】

遅刻は厳禁です。勉強をするために集中力が高められた空間は、途中で人の出入りがあると、たやすく壊れてしまいます。定刻に着席して授業を受けている学生に迷惑をかけないために、授業開始時刻に遅れた場合は、授業開始45分後くらいに行う「5分間質問タイム」中に入室して下さい。